

令和8年 業種別労働災害発生状況

(令和8年1月1日～1月31日現在)

函館労働基準監督署

業種別	令和8年1月末			令和7年1月末			対前年		業種・割合 (%)	令和7年(速報値)			
	死亡	休業4日以上	計	死亡	休業4日以上	計	増減数	増減率 (%)		死亡	休業4日以上	計	
全産業合計	1	31 (2)	32 (2)	2	28 (1)	30 (1)	2	6.7	100.0	7	615 (14)	622 (14)	
除く鉱業計	1	31 (2)	32 (2)	2	28 (1)	30 (1)	2	6.7	100.0	7	615 (14)	622 (14)	
製造業		7	7	1	5	6	1	16.7	21.9	1	107	108	
内 訳	水産食料品		4	4		1	1	3	300.0	12.5		39	39
	他の食料品		1	1		2	2	-1	-50.0	3.1		23	23
	木材木製品・家具		1	1		1	1			3.1		9	9
	窯業土石製品											3	3
	金属・機械		1	1		1	1			3.1		13	13
	輸送用機械等				1		1	-1	-100.0		1	9	10
	その他											11	11
鉱業													
土石採取業											1	1	
建設業		3	3		2	2	1	50.0	9.4	1	72 (1)	73 (1)	
内 訳	土木工事業		1	1		1			3.1		36 (1)	36 (1)	
	建築工事業		1	1		1			3.1	1	17	18	
	木造建築業										13	13	
	その他の建設業		1	1				1	3.1		6	6	
道路貨物運送業		4	4				4		12.5		48 (4)	48 (4)	
その他の運輸		1	1		2	2	-1	-50.0	3.1		15 (1)	15 (1)	
陸上貨物取扱業													
港湾運送業											1	1	
林業				1		1	-1	-100.0		3	10	13	
水産業	1	1	2				2		6.3		8	8	
卸売・小売業		3	3		2	2	1	50.0	9.4	1	79 (2)	80 (2)	
清掃業		2	2		2	2			6.3	1	28	29	
その他の事業		10 (2)	10 (2)		15 (1)	15 (1)	-5	-33.3	31.3		246 (6)	246 (6)	
内 訳	保健衛生業		8	8		8			25.0		158	158	
	接客娯楽業					2	2	-2	-100.0		40	40	
	その他		2 (2)	2 (2)		5 (1)	5 (1)	-3	-60.0	6.3	48 (6)	48 (6)	

1 労働災害の状況(令和8年発生分)
 全産業の労働災害は32名で、前年の同時期に比べ、2名増加しています。事故の型別では、「転倒」が13名、「墜落・転落」「その他」が4名となっております。
 2 令和8年1月受付分について
 業種別では多い順に、保健衛生業が8名、製造業が7名でした。
 3 コメント
 令和7年12月1日から令和8年3月31日までの期間は「北海道冬季ゼロ災運動」の取り組み期間です。凍結路面における転倒災害等が多発しています。融雪剤・砂の散布や防滑靴の使用、車両の乗降時における路面状況の確認による転倒災害防止、天候・路面状況に応じた運転や十分な車間距離の確保、早めのブレーキの励行による交通災害防止に取り組んでください。

本統計は労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものです。()内は、交通事故による労働災害の内数です。
 函館労働基準監督署の管轄は、渡島管内と檜山管内です。

令和8年 死亡労働災害発生状況

函館労働基準監督署

	発 生 月	時 刻	業種	事故 の型	起因物	災 害 発 生 概 況
1	1	11 時 台	水産業	おぼれ	水	被災者を含め4人が乗船した漁船が漁港近くでヒラメの底建網漁を行っていたが、被災者等と連絡が取れなくなったため、捜索したところ、海岸沿いの消波ブロック付近に被災者が倒れているのが発見され、その場で死亡が確認された。（被災者以外の3人は労働者ではない者。）

本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。